

DNA 品種識別マニュアル改訂のポイント

- ・ イチゴ

(1) 前回 (H19.3.14) のDNA品種識別技術検討会で報告された試験室間共同試験による妥当性確認を実施した際に作成された品種識別マニュアルに内容を合わせる形で全面的に改定した。

(2) 従来の6 マーカーによる14品種の識別から改善が図られ、25マーカーによる125品種の識別が可能となった。

- ・ 製茶

従来の7マーカーによる47品種の識別から改善が図られ、7マーカーによる61品種の識別が可能となった。